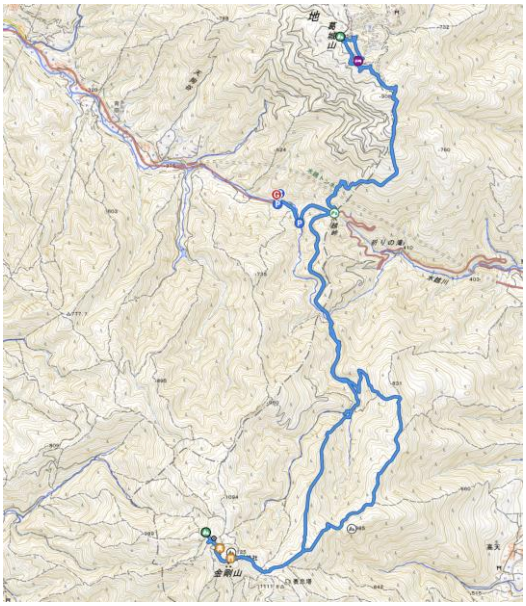
4月度 例会 個人 山行報告書

報告者	佐々木	参加メンバー	CL 尾崎 田中 佐々木 横山 古畑 貴舩
報告日	26/5/14		
山域	金剛山地	山行日	2026/3/28(土)
山名	金剛山・大和葛城山		
山行目的	三百名山山行	コースタイム(天候:天気図記号)	

配布先
集会:12
山行:1 リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

3/28(土) 晴れ

8:00 水越峠登山口
10:00 金剛山
11:30 水越峠
12:30 大和葛城山
14:00 下山

〈山行報告〉

三百名山をハントすべく金剛山と大和葛城山へ。天気は良く、半袖でもいいほどの気温であった。二つの山間の峠である水越峠に車を停め、金剛山から登る計画で8時に登山開始。序盤は舗装された道を30分ほど歩いた後、金剛山の尾根に入る。今回のルートは入り口の看板も何もなかったため少々尾根への取り付きを見つけるのに苦労した。そこそこの急登が1時間ほど続いた後、山頂付近の広い舗装路へ出る。人気の山 (YAMAPの2025年に登られた山ランキング近畿エリア1位)ということだけあり、山頂付近はかなり賑わっていた。山頂で三百名山手拭いを掲げ証拠写真を撮影し少々休憩、売店でTシャツを買うなどして水越峠へ下り始める。道中にあった神社の柵(?)には金剛山登頂回数に関する記録が刻まれており、合計1万回登頂した猛者もいるようである。どうやら金剛山は回数登山が盛んで、登山回数は山頂で回数表にスタンプを押してもらうことで記録できるようだ。水越峠へ到着後は、今回二つ目の三百名山である大和葛城山へそのまま登り始める。金剛山よりも急登であることに加えて疲労も溜まってきており中々キツい。一度の小休止を挟み、1時間ほどで山頂へ到着。ロープウェイでも来れるためか、金剛山同様に山頂付近は賑わっていた。三百名山の写真撮影を済まし、周囲を散策。自販機があったので炭酸飲料を買おうと思ったが、ダイドー製しかなく、ラインナップが微妙であったため何も買わなかった。散策後、山頂付近にいくつもある展望台のひとつで休憩。あまりにも気持ちよくそのまま眠ってしまいたかったが、重い腰を上げて下山。近くの温泉で汗を流し、夕飯を食べてから帰路へ。

確認(リーダー) 尾崎 '26.05.10

〈リーダー所見〉

金剛山は「回数登山」の聖地らしくどこか厳かで地域の生活に根差した山の雰囲気が漂っていた。多くの人に愛されている歴史を感じられる山だった。葛城山は、整備された階段の多さに足を使わされたものの、山頂に広がるとにかく開放的な景色に圧倒された。山頂でいろんな方に声をかけていただき、関西の温かさ、いいところを感じられた山行だった。

作成(報告者) 佐々 2026.5.6 木



金剛山の尾根を登る



金剛山登頂



大和葛城山山頂付近



登頂後、寝る



大和葛城山登頂